

かぜ薬

レボチリンH.D

第②類医薬品

レボチリンH.Dは、昔から漢方のかぜ薬として有名な桂枝湯に、すぐれた解熱鎮痛効果のあるエテンザミド、アセトアミノフェン、鼻水・鼻づまりなどの痛みなどのアレルギー症状に強い抑制作用のあるクロルフェニラミンマレイン酸塩を配合したかぜ薬で、かぜの症状にすぐれた効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気等があらわれることがある。)

4. 服用前後は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかるてはその疑いのある乳・幼・小兒(15歳未満)。(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(5) 次の症状のある人。 高熱、排尿困難
(6) 次の診断を受けた人。 心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステーキンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなつた皮膚上に小さなブツブツ(小膿泡)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れる・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらつとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 口のかわき、眼氣
4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

次の量を1日3回食後なるべく30分以内に服用してください。

年齢	1回量
大人(15才以上)	1包
11才以上15才未満	2/3包
7才以上11才未満	1/2包
3才以上7才未満	1/3包
3才未満の乳幼児	服用しないこと

成分・分量

3包(1日量)中に次の成分を含んでいます。

成 分	含 量	成 分	含 量
桂枝湯乾燥エキス	720mg	クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg
次の桂枝湯原生薬に相当		エテンザミド	600mg
ケイヒ 1,920mg ショウキョウ 480mg		アセトアミノフェン	540mg
シャクヤク 1,920mg カンゾウ 960mg		無水カフェイン	150mg
タイソウ 1,920mg			

添加物として乳糖、トウモロコシデンプン、白糖、無水ケイ酸を含有する。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない温氣の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) 1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
- (5) 配置期限を過ぎた製品は、服用しないこと。

■お問い合わせ先 増田製薬株式会社 お客様相談係 電話 0744-27-4381

たい印 [受付時間 9時から17時まで 土、日、祝日を除く]



製造販売元

増田製薬株式会社

奈良県橿原市川西町429